



こんにちは、原子力機構です。

～「もんじゅ」第2段階の作業概要～

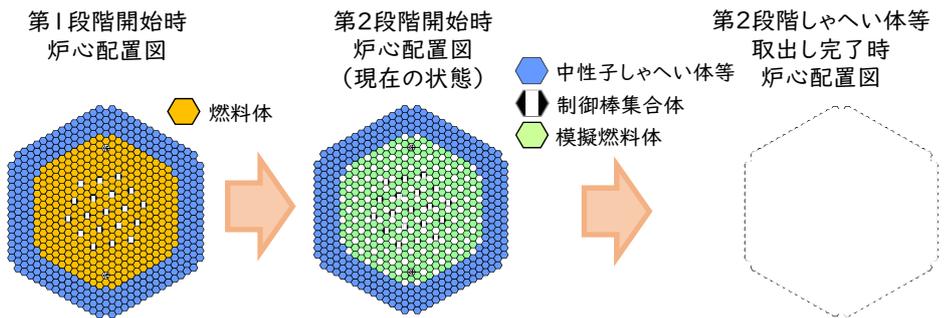
2022年12月作成

2018年8月から実施してきた第1段階における燃料体530体の取出し作業は、2022年10月に全て完了し、現在は、燃料取扱い機器の洗浄等の後片付けを終え、第2段階に向けた機器の点検等を実施しており、2023年度から第2段階へ移行する計画としています。

☆第2段階の作業概要☆

しゃへい体等取出し作業

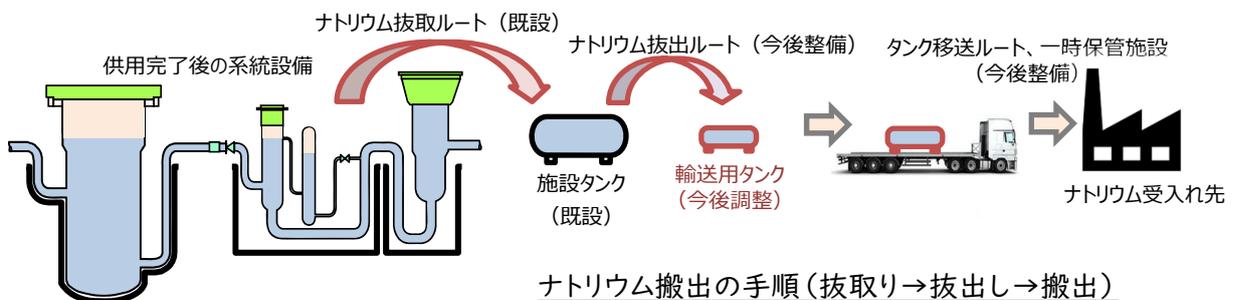
2023年度から2026年度にかけて、原子炉容器内に残っている中性子しゃへい体や制御棒集合体、模擬燃料体等の計595体を、燃料交換設備等を用いて取り出し、燃料池へ移送します。



ナトリウムの搬出

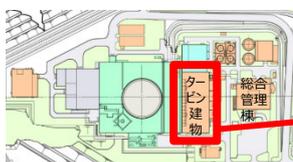
施設内に保有しているナトリウム約1,665トンについて、2021年12月に英国事業者(キャベンディッシュ社、ジェイコブス社)と覚書を締結し、有価物として搬出することで合意しました。

しゃへい体等取出し作業後の2028年度から2031年度に英国へ搬出する計画です。



水・蒸気系等発電設備の解体撤去

今後のナトリウム機器解体撤去に向け、2023年度から2026年度にかけてタービン建物3階以下に設置されているタービン発電機、復水器、給水加熱器等の解体撤去を行います。



もんじゅ建物配置



タービン発電機(タービン建物3階)

汚染の分布に関する評価

第1段階において、主に1次主冷却系の機器・配管等について、放射能測定を実施した結果、放射線量が低いことを確認しました。

第2段階においては、主に炉内構造物を含む原子炉周辺の汚染の分布評価を実施します。



放射能測定作業の様子

測定器